

この「島」が教えてくれた――。  
理想の音。  
美しい糸。  
大切な人。

篠原哲雄監督作品

# きみのためにできること

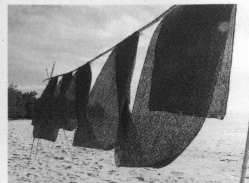
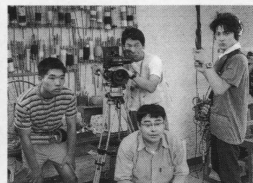
柏原崇 真田麻垂美 川井郁子 田口浩正 永島暎子 大杉漣 岩城滉一  
製作総指揮●中村雅哉 企画●吉田達 プロデューサー●工藤俊機/森本精人/蒼宣次 監督●篠原哲雄 原作●村山由佳「きみのためにできること」(集英社刊)  
脚本●高橋美幸 撮影●上野彰吾 照明●矢部一男 美術●金勝浩一 録音●田中靖志 音楽●村山達哉 主題歌●山下久美子(東芝EMI)  
1999年/ビスタサイズ/113分 製作協力●バス・カンパニー 製作・配給●日活株式会社

## ピュアな感性と優しくキュートな歌声との出会い。

主演の俊太郎を演じるのはJUNONスーパーボーイコンテストでグランプリを受賞し、岩井俊二監督のヒット作『Love Letter』(95)でピュアな感性を見せた柏原崇。脚本作りの段階からこの作品に参加し、青年期のナイーブな心を、絶妙に表現して見せた。俊太郎のガールフレンド役に、『月とキャベツ』(96)に続く篠原作品出演となる真田麻垂美。俊太郎のあこがれの木島役を岩城滉一が演じるほか、『HANA-BI』(98)で98年の助演男優賞を総ナメにした大杉漣、『Shall weダンス?』(97)など周防正行監督の常連である田口浩正、自身もヴァイオリニストであり、根岸吉太郎監督『絆』(98)で映画デビューした川井郁子がレポーター耀子を演じ、その腕前も披露している。また、主題歌を唄うのは、常に恋や生きることへのエネルギーを与えてくれる山下久美子。キュートなエンディングに流れる彼女の歌声は、映画とともに、観客をいたわり、そして励ましの応援歌として心に届くだろう。



# きみのために できること



癒しの島 = 宮古島を舞台に描き出した一人の少年の夢と惑い  
透明感溢れる村山由佳の原作と『月とキャベツ』の篠原哲雄監督のやわらかな視線。

コバルトブルーの海が輝く沖縄・宮古島。訪れる人を温かく包むその島には、心を込めて織られる宮古上布という伝統的な織物がある。この映画はそんな宮古上布の縦糸と横糸のように、初々しい恋心や仕事の中で傷ついた痛みなどさまざまな人の想いを問いかけ、その中でひとりの青年の成長する物語を、心やさしく見つめさせてくれるヒーリング的なヒューマン・ドラマだ。原作は『天使の卵』で第6回小説すばる文学賞を受賞し、その繊細な心理描写が女性ファンに人気の村山由佳。監督の篠原哲雄は、森田芳光や中原俊らの助監督を経験した、いわば生粋の映画監督。『草の上の仕事』(93)で多くの海外の映画祭から招待を受ける。山崎まさよし主演『月とキャベツ』(96)では、センチティブに人と人との距離感を描き、若い観客から高い支持を得たのも記憶に新しい。



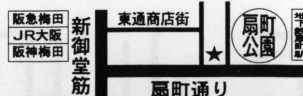
### STORY

21歳の録音技師・高瀬俊太郎(柏原崇)は、音にこだわりを持つ自分の仕事に情熱をかけている。この仕事についたのは高校時代に撮った8ミリが、とある映像フェスティバルに佳作で入選し、音を活かした俊太郎の才能を、録音界の巨匠・木島隆文(岩城滉一)が高く評価してくれたことだった。TVのドキュメンタリー番組を作るために宮古島を訪れた俊太郎は、ガールフレンドの吉崎日奈子(真田麻垂美)とEメールの交流で心を通わせる一方、レポーターである美人ヴァイオリニスト鏡耀子(川井郁子)に心魅かれていく。さらに、運命的な木島との再会。ところが木島と耀子は、ただならぬ関係だということに気づく。木島のように“理想の音”を追い求めながらも、二人の女性の間で揺れる俊太郎。未熟な自分と向き合おうとする俊太郎を、宮古島の豊かな自然と緩やかなリズムが優しく包み込んでいく…。

## 8月28日(土)から9月10日(金)までロードショー決定!!

### 11:45/2:00/4:15/6:30

前売券=1400円(当日一般=1700円/当日学生=1400円)



ホワイト梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分  
扇町ミュージアムスクエア  
06-6361-0088 ● www.oms.gr.jp